

ひまわり

11月号 神戸市立長田中学校

<https://www.kobe-c.ed.jp/ngt-ms/>

『1』という数字

～休日よりも楽しい平日を～

学習指導部長

「2024年11月1日8時29分60秒」…何か違和感がありませんか。そうです、8時29分59秒の1秒後は「8時30分00秒」です。これは「うるう秒」という「普段は存在しない1秒」です。地球は1日に1周自転をしていますが、その速さは一定ではなく、地球の自転に合わせて時刻を合わせた際に生じるズレをこの「うるう秒」という1秒で修正しているのです。地球の自転と時間の流れをつなぐ「1秒」。そう考えると「1」という数字の壮大さに気付かされます。

さて、10月24日(木)に『笑満祭』が開催されました。肌寒くなった気候を暖めるかの如く、各学年のエネルギーに満ち溢れた歌声が体育館に響き、吹奏楽部や総合文化部、生徒会執行部による素晴らしい舞台発表と美術部のダイナミックな展示作品は多くの人に深い感銘を与えたことと思います。2学期の2大行事である「体育大会」「笑満祭」を終えると、11月を迎えます。11月というと、2年生はトライやる・ウィークを控えています。各学年に共通して2学期末考査があります。とりわけ3年生においては受験期が本格化し、各高校で秋季オープンハイスクールも開催され、みなさんの勉強や点数に対する意識がより一層高くなることと思います。考査の点や評定の中では、「理科の評定が1上がった!」「あと1点で80点だった…!」など「1」という数字を多くの場面で見ます。点数に対する意識が高くなればなるほど、1の差に喜びや悔しさをより感じます。「1」という数字が結果として笑えるものであればよいのですが、その1の差で泣くこともあります。受験や考査で悔いを残さないためにも、「1点でも多くとる」「1秒でも早く解く」という気持ちを大切にして、学業にぜひ打ち込んでください。その「1」の差が結果に表れるはずですよ。

「1」の差で笑うためには、日々の授業への取り組みをより良くする心意気も必要です。みなさんの登校時間を朝8時とすると、完全下校時刻の夕方5時までの9時間を学校で過ごします。授業は日々6時間行われますから、9時間中の6時間、つまり1日の3分の2の時間を授業に使っていることとなります。では、考えてみてください。みなさんは平日1日の3分の2を占める『授業』をどのように過ごしていますか?あなたの見ている世界はあなたの見る角度で様変わりします。人それぞれ興味関心に違いはあれど「おもんない」を「面白い」と臨む前向きな姿勢が日々を彩ります。3分の2の時間を楽しいものに変えることができれば、学校は今よりもっと楽しいものになるはず。見る角度を変え、休日よりも楽しい平日をつくりましょう。そして「やっていてよかった!」「がんばってよかった!」と言っている未来を今ここから生み出すのです。